

## さくらっ子森いく園 令和元年度活動報告

### 環境に関する事

私たちは、主に比治山を中心に活動しています。

NPOの活動の中では、『比治山を守り育てる会』として比治山の環境整備活動も行なっています。子ども達が毎日のお散歩へ出かける比治山を、子ども、保護者、職員みんなで定期的に清掃したり、下草刈りなどをしたりして整備しました。また、職員2名が、広島市が年間を通して開催する森メイト講座に参加し、整備の方法や、知識、重要性を学びました。



### 遊び、育ちについて

2歳以下は、近くの河原へお散歩に出かけたり、園庭や目の前の公園で、水遊びやどろんこ遊びをしました。比治山の竹林整備で出た竹で、スコップや器を作って、泥んこ遊びで活用しています。3歳以上は、1年を通して比治山を中心に、活動しました。1年中同じ場所へ出かける事で、子どもたちは、四季の移ろいを感じ発見し、その変化を大いに楽しんでいました。

また、整備で出た大量の棕櫚の葉の処理に困り果てていたところ、子ども達はそれを色々な形で、遊び道具として利用していました。さらに、整備後に出た竹を使って、そうめん流しや、門松作りを楽しみました。



昨年度より、運動会に代わって、日々の園生活の延長線上にあるイベントとして、比治山だいぼうけん大会を開催しました。保護者に、子ども達がいつも楽しんでいる遊びを見てもらったり、子ども達が保護者に比治山を案内しながら、ミッションをクリアしていくというオリエンテーリング形式で行いました。子ども達は、とても張り切って案内し、保護者にも子ども達が、いつもどんなところでどんな遊びをしているのか実際に見て、体験してもらう事が出来ました。





今年も、子ども達が自ら整備し遊んだ場所で、卒園式を行いました。  
子ども達が考え準備して、アットホームな素敵な会になりました。



## 自然体験活動の実施にあたって工夫したところ

### (1) 職員の資質向上への取組

- ・自然保育アドバイザーの菊間さんにお越しいただき、職員と一緒に比治山を散策しながら比治山のできる自然遊びをたくさん教えていただきました。
- ・自然保育の補助金を活用してムツレリーダー研修・クニユータナ研修などに参加したり、スウェーデンのいくつかの保育園へ見学に行きました。
- ・保育ということだけにとらわれず、広い視野で物事を見ること、保育士自身が自然へ興味関心を持ち楽しむ事などを意識しています。



### (2) 地域との繋がり

- ・5月には比治山で、外で思いっきり遊ぼうイベント『エルマーフェスタ』を開催しました。自然の中で様々な体験ができるいろいろなブースを用意し、広島県内から、2000人を超える親子の参加がありました。





- ・地域の未就学親子に向けて、月に1度の比治山でのお散歩会や隔月で離乳食講座を開催しています。
- ・6月には、自然保育を実践される2つの園から先生方をお招きし、自然保育の重要性や体験談について講演していただき、広島市内外から多くの方々にご参加いただきました。



### (3) 保護者理解に向けた取り組み

- ・毎年、春と秋に、保護者と一緒に畑の講習会をしています。子ども達が野菜作りをしているさくらっ子農園で、保護者も一緒に種まきや収穫をすることで、子ども達と野菜作りの苦労や楽しさ、知識を共有してもらえました。
- ・12月には、保護者と一緒に竹林整備を行い、切り出した竹で門松作りをしました。保護者と職員と一緒に作業する事で、子ども達のフィールドや自然への関心を持っていただけるようになりました。



- ・毎年冬になると、比治山でお散歩中に、たくさんの冬鳥を観察するのが子ども達の楽しみになっています。その為今年も、2月に野鳥の会の方をお招きし、保護者向けに比治山での野鳥観察会を行いました。2時間かけて散策し、冬にしか見られない鳥をたくさん観察することができ、『観察会以来、子どもと鳥を探すのが楽しくなった』『休みに家族で鳥を観察しに行きました』など、自然遊びの一つとして、家庭でも取り入れられるようになりました。

